

熊本県近代文化功労者顕彰式及び
「くまもと教育の日」県民フォーラム
を開催します！

〔 日 時 〕 平成25年11月9日(土) 12:50~16:40

〔 場 所 〕 ホテル熊本テルサ テルサホール

〔 内 容 〕 表彰及び講演会

12:00~ 受付

12:50~13:50 平成25年度熊本県近代文化功労者顕彰式

13:50~14:00 休憩

14:00~14:05 「くまもと教育の日」県民フォーラム開会式

14:05~15:00 平成25年度「くまもと教育の日」フォトコンテスト表彰

平成25年度熊本県公立学校善行児童生徒表彰

平成25年度熊本県教育功労(優秀教職員)表彰

15:00~15:10 休憩

15:10~16:40 講演会 講師：ピーター・フランク氏

演題：「世界に羽ばたくための学習法」

〔 参 加 〕 参加料は無料でどなたでも参加可能です。

〔 参加申込 〕 事前の申込みが必要です。

「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、

はがき、FAX、電子メールで申し込んでください。

〔 申 込 先 〕 〒862-8609 熊本市中央区水前寺 6-18-1

熊本県教育庁教育政策課 浦上

T E L 096-333-2673

F A X 096-384-1509

e-mail urakami-k@pref.kumamoto.lg.jp

〔主催／共催〕 熊本県教育委員会／公益財団法人日本教育公務員弘済会熊本支部



平成25年度 熊本県近代文化功労者について

熊本県教育委員会では、本県出身者又は在住者(故人を含む)で、教育・学術・芸術・宗教・産業等あらゆる分野で近代文化の発展に貢献し、その功績が顕著である方を顕彰しています。

昭和23年度の第1回から本年度で64回目を迎え、これまでの述べ280名を顕彰してきた本県で最も古い歴史をもつ顕彰式です。

この顕彰事業の目的は、社会の発展に尽くした郷土の先人達の功績について、広く県民の方々に紹介して、このような先人の生き方を通して青少年の健全育成を図ることにあり、毎年、顕彰者の小伝記となる功績集を作成して、県内図書館や各学校において配付し、授業で活用していただいています。

記

1 顕彰者

氏名	顕彰分野	肩書	生没等
安場 保和	政治	政治家	天保6年生 故人
荒木 俊馬	学術	宇宙物理学者	明治30年生 故人
チェスキーナ・永江洋子	文化一般	ハープ奏者	昭和7年生 現存者

※ 功績については別紙のとおり

2 顕彰式

熊本県近代文化功労者顕彰式において行います。

問い合わせ先
教育総務局文化課
須藤、廣石(内線6720、6714)
TEL 096-333-2704



やすほやすかず
安場保和（政治）故人

天保 6年（1835年） 4月17日生
明治 32年（1899年） 5月23日没
（享年64歳）

安場氏は日本各地の地方官や政府の高級官僚を歴任しているため、その業績も多岐にわたり、全国各地で尽力。熊本県との関係に限定すれば、以下の3点があげられる。

まず廃藩置県に深く関わったことである。熊本藩内で、藩の自主的廃藩と引き替えに中央政府の機構改革を求めるプランが作成された。そのPR役として、岩倉具視や大久保利通など政府内の中心人物を連日訪問し、彼らにこのプランを熱心に説いて回ったのである。そのことが政府廃藩置県を断行するきっかけになった。

次に、九州鉄道会社の設立及び熊本県内への鉄道延伸に尽力したことである。九州鉄道会社は明治20年（1887年）にその設立が呼びかけられ、翌年に政府の認可を得て、正式に創設されるが、安場氏は福岡県令として、その発起人及びまとめ役となり、明治24年（1891年）同社本線の熊本市までの乗り入れに大きな力を果たした。

そして最後に、勝海舟が『氷川清話』において「横井小楠のよい弟子と言ったら、安場保和一人くらいのものだろう。」と書き記しているように、生涯を通じて横井小楠の門下生としての誇りを失わず、県選出の国会議員や県出身の官僚たちとの連携のもと、熊本県政の発展に心を配ったことである。氏は、全国各地を転々としていた間も、常に郷土熊本のことを深く考えていた。

- 天保 14年：藩校時習館入学
- 嘉永 2年：横井小楠塾に入門
- 明治 元年：戊辰戦争に参加し、東海道鎮撫総督府参謀となる
- 明治 2年：胆沢県（現在の岩手県の一部）大参事となる
- 明治 3年：熊本藩権大参事試補、翌年、少参事に昇進
- 明治 4年：明治新政府の大蔵大丞となる
岩倉使節団の一員として、欧米諸国へ向け、横浜港を出港
- 明治 5年：福島県権令となる 10月に県令に昇任
- 明治 8年：愛知県令となる
- 明治 19年：福岡県令となる
- 明治 25年：貴族院議員に勅撰される
- 明治 29年：男爵に列せられる
- 明治 30年：北海道庁長官になる



あらき としま
荒木俊馬(学術) 故人

明治30年(1897年)
昭和53年(1978年)

3月20日生
7月10日没
(享年81歳)

荒木氏は、熊本県立中学済々黉、広島高等師範学校などを経て、京都帝国大学理学部物理学科に入学。新設されたばかりの宇宙物理学教室に学ぶ。

大学卒業後は欧州留学などを経た後、京都帝国大学で宇宙物理学講座を担当する中で、当時学生であった湯川秀樹や朝永振一郎に量子力学の集中講義を行うなど、数多くの優秀な研究者を育成。また、専門書・研究論文の執筆を精力的に行い、わが国における宇宙物理学発展の基礎確立に大いに貢献した。

また、昭和12年には大阪市立電気科学館に完成した日本初のプラネタリウムにおけるプログラム解説を担当し、ラジオ中継も行われた。

さらに、昭和20年代には若い世代に向けた著作も数多く執筆し、漫画家松本零士にも多大な影響を与えた。“宇宙時代”の到来など夢また夢であった時代に、青少年のまなざしを広大な宇宙へと向ける契機にもなった。

やがて、豊かな教養と鋭い国際的感覚を持った、現代社会における指導者たるべき人材の育成の必要性を強く感じ、従来の大学とは一線を画した、新しい大学の設立を志し、昭和40年、「京都産業大学」を開学し、その初代学長兼理事長に就任し、我が国の将来を担う人材の教育と育成に尽力し続けた。

- 明治43年：熊本県立中学済々黉入学
- 大正4年：広島高等師範学校理科第1部入学
- 大正8年：滋賀県立彦根中学校教諭として赴任
- 大正9年：京都帝国大学理学部物理学科入学
- 大正12年：京都帝国大学理学部助教授
- 昭和4年：文部省の命によりドイツ留学(～昭和6年)
- 昭和16年：京都帝国大学教授
- 昭和29年：大谷大学教授
- 昭和40年：京都産業大学開学 京都産業大学初代学長兼理事長
- 昭和44年：京都産業大学総長
- 昭和48年：ポーランド科学アカデミー及びユネスコの招聘により、コペルニクス生誕500年記念国際学術会議において記念講演



Yoko Ceshina

チェスキーナ・永江洋子 (文化一般) 現存
昭和7年(1932年)4月5日生 (満81歳)

永江氏は、「私の受けた恩を、才能あふれる音楽家を支援することで、社会に恩返ししたい」ということをいつも話し、大好きな音楽文化振興のため、自分の人生をかけ支援を行い、世界中を飛び回っている。

波乱の少女時代、第一高等学校、東京芸術大学時代を経て、戦後初年の公費留学生として、イタリアのベネツィア音楽院に入学し、音楽家を目指す。そこで、大富豪レンツォ・チェスキーナ氏と出会い結婚。チェスキーナ氏の死後、数々の音楽文化振興のため支援活動を行う。住まいの本拠地であるイタリアのスカラ座の修復には長い期間かけて支援。ベネツィアでは知らない人はいないと言われるほどその活躍は語り継がれている。

また、ロシアのマリンスキー歌劇に携わる関係者の中で、唯一の個人メンバーであり、特に指揮者ワレリー・ゲルギエフの天才的音楽性に感銘し、全世界で演奏会の支援活動を行っている。その活動の1つとしてこの「マリンスキー歌劇場管弦楽団」を2007年・2009年・2012年と3度熊本に招き、3回目の公演には、母校の生徒並びに教職員250名を招待している。

- 昭和20年：熊本県立第一高等女学校入学
音楽の有馬俊一先生より指導を受ける
- 昭和27年：熊本大学附属小学校代用教員に採用される
熊本大学梅沢信一先生より指導を受ける
- 昭和29年：東京芸術大学ハープ科に入学
- 昭和35年：「イタリア政府給費留学生」に合格
イタリアへのベネツィア音楽院入学
ハーピスト、マルゲリータ、チコニアームに師事
- 昭和37年：大富豪レンツォ・チェスキーナ氏と出会う
ベネツィア音楽院卒業後ローマ滞在
- 昭和52年：レンツォ・チェスキーナ氏と結婚
(昭和57年 死別)
- 平成15年：母校である第一高等学校創立100周年記念に奨学金をおくる
- 平成20年：「ニューヨーク・フィルハーモニック平壤公演」という米国北朝鮮の初の本格的な文化交流に協力
- 平成23年：東北大震災の際に義援金をおくる
- 平成24年：県立劇場「マリンスキー歌劇場管弦楽団」公演を支援し、母校第一高等学校の生徒、教職員250名を招待

平成25年度「くまもと教育の日」フォトコンテストについて

熊本県教育委員会では、県民の教育に対する関心を高めることを目的として、様々な教育活動に取り組む児童生徒や県民の姿を撮影した作品を募集し、入賞作品を広く県内外に発信するため、当フォトコンテストを実施しています。

本年度は、下記のとおり実施し、入賞者に対する表彰を行います。

記

1 募集期間

平成25年7月1日（月）から平成25年9月30日（月）まで

2 応募作品数

313点

3 審査日

平成25年10月10日（木）

4 審査員

長野 良市（写真家）

坂本 明彦（株式会社熊本日日新聞社写真部長）

中西 康夫（公益財団法人日本教育公務員弘済会熊本支部長）

能登 哲也（熊本県教育庁教育政策課長）

5 入賞

最優秀賞1点、優秀賞4点、入選20点

入賞者一覧については別紙参照。

6 表彰式

最優秀賞及び優秀賞については、「くまもと教育の日」県民フォーラムにおいて行います。

7 入賞作品を利用した周知活動等

熊本県教育委員会ホームページに作品を掲載します。

表彰式会場及び県関係施設で年間を通じて展示予定です。

教育庁内各課で作成する印刷物等に活用する予定です。

問い合わせ先

教育政策課教育プラン推進班

浦上、堺（内線 6619、6612）

TEL：096-333-2673

平成25年度「くまもと教育の日」フォトコンテスト入賞者

【最優秀賞】

ウフッ きいちゃった!

坂本 靖子 様 (山鹿市)



【優秀賞】

あゆ祭りのソーメン流し

原田 将令 様 (熊本市)

声援

矢島 智子 様 (熊本市)

大いちょうとの思い出

中川 香織 様 (錦 町)

風船に思いをこめて

内野 美里子 様 (阿蘇市)

【入選】

本読んで

はじめまして会長さん

読み聞かせ

「せーえのっ!!!」

仲良しの友達と一緒に。

これからもよろしくね

「土作り」

引けー!!

挨拶、聞こえんぞ

楽しく学んで!

刻み

おじいちゃん、いいお正月にしようねっ

教えたるか?

静寂

集中

わらじをつくったよ

談笑

歓喜

release!!!!

豊作 わが家のたまねぎ

成尾 博紀 様 (八代市)

上土井 孝士 様 (荒尾市)

竹中 京一 様 (熊本市)

松村 栄治 様 (山鹿市)

村上 文夫 様 (熊本市)

清永 邦宏 様 (菊陽町)

重本 公茂 様 (八代市)

緒方 誠光 様 (玉名市)

森山 靖彦 様 (八代市)

西嶋 瑠美 様 (八代市)

角田 和隆 様 (八代市)

竹下 里恵 様 (山鹿市)

永井 友規 様 (熊本市)

稲葉 一文 様 (山鹿市)

川口 友美 様 (宇城市)

田中 聡美 様 (阿蘇市)

黒川 瑞季 様 (御船町)

甲斐 琢二 様 (御船町)

瓜山 愛史加 様 (大津町)

森 あきこ 様 (天草市)

平成25年度善行児童生徒表彰について

熊本県教育委員会では、日頃から他の模範となることを行っている、あるいは、特に賞賛に値する行いをした児童生徒又はグループを毎年表彰しております。本年度は下記の7件の個人及び団体の児童生徒の表彰を決定しました。

記

1 表彰者

	学 校 名	学年・氏名等	善行内容	個・団
1	長洲町立清里小学校	6年生	清掃活動	団体
2	山鹿市立平小城小学校	3年 柴田 果歩	環境美化活動	個人
3	熊本市立竜南中学校	3年 桐葉 千花	独居老人支援活動	個人
4	宇城市立松橋中学校	1年 阪井 花蓮 平岡 穂香 大川内智萌	人命救助	個人
5	山鹿市立鶴城中学校	生徒会	被災地支援活動	団体
6	熊本高等学校	2年 松本 将宏	人命救助	個人
7	ひのくに高等支援学校	全校生徒	社会奉仕活動	団体

※ 善行の内容については別紙のとおり

2 表彰状授与式

「くまもと教育の日」県民フォーラムにおいて行います。

問い合わせ先
教育指導局義務教育課
 淵上 佳 (内線 6662)
TEL : 096-333-2690
教育指導局高校教育課
 藤本 (内線 6783)
TEL : 096-333-2685
教育指導局特別支援教育課
 前川 (内線 6648)
TEL : 096-333-2683

平成25年度善行児童生徒表彰 被表彰者一覧

学 校 名	学年・氏名等	善行の分野	個・団
善行の概要			
長洲町立清里小学校	6年生	清掃活動	団体
<p>22年間にわたり、長洲駅の清掃ボランティア活動に取り組んでいる。児童らは、月1回放課後に学校から駅まで歩いていき、構内にある蜘蛛の巣を取ったり、濡らした新聞紙を使って窓を掃除したりして汗を流し、駅の利用客や地域の方々との交流の機会にもなっている。</p>			
山鹿市立平小城小学校	3年 柴田 果歩	環境美化活動	個人
<p>本児童は、小学校2年生の時から、自分で摘んだ花や農業に従事されている祖父母が育てた花を毎週月曜日に持参し、校内4カ所に生ける活動を1年間行うなどして、心和む空間を作り、みんなの目を楽しませてくれている。</p>			
熊本市立竜南中学校	3年 桐葉 千花	独居老人支援活動	個人
<p>ジュニアヘルパーボランティアとして、校区の独居老人訪問を続けるとともに、様々な研修会やキャンペーン活動等に参加するなど、地域の高齢者福祉に貢献している。また、自己の体験を発表したことで、ボランティアへの参加者が増えるなど、周囲の生徒へも影響も与えている。</p>			
宇城市立松橋中学校	1年 阪井 花蓮 平岡 穂香 大川内智萌	人命救助	個人
<p>5月27日の登校中、車に寄りかかり胸をおさえ苦しそうな表情の男性を見て、3人は近所の方に救急車を呼んでもらうように依頼し、救急車が到着するまで男性を見守っていた。男性は狭心症の発作であり、生徒たちの初期の対応がなければ、生命に危険がある可能性もあった。</p>			
山鹿市立鶴城中学校	生徒会	被災地支援活動	団体
<p>東日本大震災で被災された方々に対し、生徒会として何かできることはないかを考え、2年にわたり自分たちで育て収穫したうるち米に、手作りのメッセージを添えて宮城県東松島市の小中学生に贈る活動に取り組んでいる。東松島市の小中学生からは、感謝の手紙やDVDなどが届いている。</p>			
熊本高等学校	2年 松本 将宏	人命救助	個人
<p>7月31日午前11時頃、部活動に参加するため学校へ向かっている途中、学校近くの踏切付近で、遮断機が降り列車が近づいているにもかかわらず線路内に入っていた男性を発見し、腕をつかんで線路の外に引っ張り出し救助した。</p>			
ひのくに高等支援学校	全校生徒	社会奉仕活動	団体
<p>県が行っている「ロード・クリーンボランティア」に、10年間継続して参加し、学校周辺の国道などの清掃活動を行っている。併せて、市内の公共施設、病院、郵便局、福祉施設等に花プランターの配付を行ったり、国道沿いの花壇に花を植えたりして、地域の方に喜ばれている。</p>			

平成25年度熊本県教育功労（優秀教職員）表彰について

熊本県教育委員会では、学校教育において積極的な取り組みを行い、顕著な成果をあげた教職員を平成17年度から表彰しています。本年は、下記の18名の教職員の表彰を決定しました。

記

1. 表彰者

氏名	職名	学校名	功績分野
土田 幸生	教諭	玉名市立玉名町小学校	生徒指導
田島 裕子	教諭	山鹿市立三玉小学校	学習指導
迎田 千恵子	教諭	山鹿市立城北小学校	特別支援教育
青木 敦子	教諭	菊陽町立菊陽中部小学校	学習指導
原田 加代子	教諭	御船町立七滝中央小学校	学習指導
佐方 俊文	教諭	甲佐町立白旗小学校	学習指導
荒川 国博	教諭	芦北町立佐敷小学校	学習指導
宮本 斉之	教諭	玉名市立玉陵中学校	学習指導
平野 忠博	教諭	大津町立大津中学校	学習指導
鶴田 浩	教諭	阿蘇市立阿蘇中学校	学習指導
山下 郁子	教諭	八代市立第五中学校	その他学校教育
横田 周朋	教諭	県立菊池高等学校	部活動指導
西野 裕友	技師	県立熊本工業高等学校	その他学校教育
緒方 誠光	教諭	県立玉名工業高等学校	進路指導
黒木 明吉	実習教師	県立盲学校	特別支援教育
坂本 剛	教諭	県立熊本聾学校	特別支援教育
今田 浩一	教諭	県立松橋東支援学校	特別支援教育
佐伯 恵子	教諭	県立黒石原支援学校	特別支援教育

※ 功績については別紙のとおり

2. 表彰状授与式

「くまもと教育の日」県民フォーラムにおいて行います。

3. その他

熊本市が政令指定都市に移行したことに伴い、熊本市教育委員会の任命に係る教職員は含まれておりません。

問い合わせ先
教育政策課教育プラン推進班
浦上、堺（内線 6619、6612）
TEL：096-333-2673

学校名	職種	氏名	主たる 功績分野
功績概要			
アシキタチョウリンサシキシヨウガッコウ 芦北町立佐敷小学校	教諭	アラカワ くにヒロ 荒川 国博	学習指導
<p>国語科を中心に、教科指導において、発問や板書の工夫、言語活動を取り入れた学習の進め方、ICT機器の積極的な活用等による授業に熱心に取り組み、児童の学習意欲・学力の向上に繋がっている。また、公開授業等を通して他の教員の指導力向上にも寄与している。</p>			
タマナシリツ キョクリョウチョウガッコウ 玉名市立玉陵中学校	教諭	ミヤモト タクユキ 宮本 斉之	学習指導
<p>数学科の教科指導力が高く、授業での徹底指導の工夫により、生徒の関心や意欲を高め一人一人の能力に応じた学力向上に貢献している。また、平成24年度に「授業マイスター」に認定され、公開授業や研修会の講師等として他の教員の指導力向上にも寄与している。</p>			
オオツチョウリツ オオツ チョウガッコウ 大津町立大津中学校	教諭	ヒラノ タクヒロ 平野 忠博	学習指導
<p>国語科の教科指導力が高く、基礎学力の確実な定着や国語嫌いの生徒の学習意欲の向上を目指した授業に取り組んでいる。また、平成24年度に「授業マイスター」に認定され、公開授業や研修会の講師等として他の教員の指導力向上にも寄与している。</p>			
アソシリツ アソ チョウガッコウ 阿蘇市立阿蘇中学校	教諭	ツルタ ヒロシ 鶴田 浩	学習指導
<p>技術・家庭科(技術分野)の教科指導力が高く、工具に関する基礎的な指導を通して、生徒がものづくりの基礎を主体的に学び、活用する態度の育成を目指した授業に取り組んでいる。また、平成24年度に「授業マイスター」に認定され、公開授業や研修会の講師等として他の教員の指導力向上にも寄与している。</p>			
ヤツシロシリツ ダイゴチョウガッコウ 八代市立第五中学校	教諭	ヤマシタ イコ 山下 郁子	その他学校教育
<p>部活動指導や生徒指導にあたり、基本的な生活、ルールやマナー、謙虚な心、感謝の心など人としての在り方や人権教育に力を入れるとともに、学年主任をはじめ様々な校務分掌において何事に対しても率先垂範して学校教育活動に取り組んでいる。その姿勢は、同僚教職員の模範となるとともに、子どもたちはもちろん保護者からの信頼も厚い。</p>			
ケンリツ キクチ ヨウトウガッコウ 県立菊池高等学校	教諭	ヨコタ シュウホウ 横田 周朋	部活動指導
<p>バレーボール部の顧問として各種の大会で顕著な成績をあげている。特に、現任校において他の県内強豪校と対等に戦える力を身につけさせるなど指導力を発揮した。一方、技術指導ばかりでなく徹底した人間教育を行うことから、周囲の厚い信頼を得るとともに他の教員の人材育成に大きな役割を果たしている。</p>			

学校名	職種	氏名	主たる 功績分野
功績概要			
ケンリツ クマモトコウギョウコウトウガクコウ 県立熊本工業高等学校	技師	ミノ 西野 裕友	その他学校教育
<p>技師として、学校の教育環境の整備や施設設備の保守、修繕に携わる中、業者に依頼するような補修等についても授業や周辺の環境へ配慮を行った上で自ら対応することにより、経費削減に貢献している。また、近隣とのコミュニケーションを積極的に図り、地域住民の方からも好感を持たれている。さらに、生徒会に働きかけ、ペットボトルキャップ回収運動の支援を行う等、教育に携わる者として素晴らしい姿勢が見られる。</p>			
県立玉名工業高等学校	教諭	オガタ 緒方 誠光	進路指導
<p>進路指導主事として、企業訪問を計画的に行い信頼関係を築くとともに、生徒のコミュニケーション能力向上のために全職員で面接指導にあたる等、リーダーシップを発揮している。また、長年に渡りバスケットボール部の指導に携わり、全国大会出場を果たすなど顕著な成績をあげている。さらに大型掲示を活用した校外への情報発信にも力を入れ、生徒の意識向上並びに保護者や地域への広報活動に尽力している。</p>			
ケンリツ モウガクコウ 県立盲学校	実習教師	カギ 黒木 明吉	特別支援教育
<p>実習教師として、あん摩マッサージ指圧師、鍼師、灸師としての就労を目指す生徒一人一人の特性を大事にしなが、臨床実習に係る生徒と患者のマッチングや事故防止の取組み、患者の安定確保等、様々な面での環境づくりを行い、実習の充実を図ることで就労に向けた進路保障に貢献している。</p>			
ケンリツ クマモト ロウガクコウ 県立熊本聾学校	教諭	サカモト ツシム 坂本 剛	特別支援教育
<p>これまで様々な種類の障がいに係る特別支援教育に携わる中で、その豊富な経験を活かした教育実践に能力を発揮している。現在は聴覚に障がいのある幼児児童生徒の指導に取り組んでおり、巧みな授業は他の教師の模範となっている。また、校外からの支援依頼に対しても、専門性を十分に発揮した検査の実施や相談対応等、保護者や教職員の期待に応えている。</p>			
ケンリツ マツハシヒガシエンガクコウ 県立松橋東支援学校	教諭	イマダ 浩一	特別支援教育
<p>長年に渡り特別支援教育に携わる中、地域の支援体制の構築・推進に貢献している。保育園、幼稚園、小中学校からの相談に対する高い専門性を活かした丁寧な対応には定評がある。また、関係機関との連携促進に取り組み、地域の理解・啓発及び職員の専門性の向上に貢献している。</p>			
ケンリツ クロイシハルシエンガクコウ 県立黒石原支援学校	教諭	サエキ 佐伯 恵子	特別支援教育
<p>長年に渡り、特別支援教育において学術的根拠に基づいた指導・支援を行っており、最新の理論、知識を積極的に吸収して教育実践に反映させてきた。ICT機器を活用した実践や、地域の小中学校の教育相談、研修を担当するなど障がいのある児童生徒の学力保障に貢献している。また、自らの教育実践の公開に努め後進の育成にも寄与している。</p>			